

# 令和4年度 学校評価報告書

学校番号( 小24 ) 長崎市立(深堀小)学校

## 1 教育目標

「やればできる」～みんなの好きな楽しい学校～  
 めざす学校像 ○楽しい学校 ○整った学校 ○伸びる学校  
 めざす児童像 ○進んで学ぶ子 ○素直で明るい子 ○たくましい子  
 めざす職員像 ○誠実な職員 ○学ぶ職員 ○つながる職員

## 2 学校経営方針

憲法・教育基本法の本質、県・市の教育方針及び長崎市教育振興計画に則り、本校児童と地域の実態を踏まえ、人間尊重と平和希求の本質を基調として、豊かな心とたくましい体を持ち、自ら学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、進展する国際社会に主体的に生きる人間性豊かな児童の育成を図る

## 3 重点目標

姿勢(しせい)のいい学校(自主・自律)  
 生きて働く「知識・技能」の習得  
 ○よりよい人間関係を築くあいさつの実践  
 未知のものにも対応できる「思考力・判断力・表現力」  
 ○社会性を育むための学級経営、学年経営(自立と共生)  
 学びを社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」  
 ○支援を要する子どもの理解とその支援・指導について全職員が理解する場の充実(子どもを語る会)

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	87	96	100	・学校の雰囲気に関する児童、教職員評価が低い。児童は前回よりも9%上昇しているが、教職員は下降している。生活指導等で大変だったことが影響していると考えられる。継続した指導、支援で改善が見られるようになり、今後は雰囲気も良くなるものと考えられる。 ・業務改善は、新年度の校務計画を立てる際に校務の見直しを行うよう呼び掛けていく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	76	86	76	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			88	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			75	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	82	84	100	・挨拶に関する児童、保護者評価が、前回同様に低い。地域、学校、育友会が連携して指導していく必要がある。 ・いじめ防止に対する保護者評価が前回同様低い。人権集会等の取り組みを今後も発信続ける必要がある。
		挨拶をよくしている	74	71	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	82	81	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	82	79	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	84	75	94	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	91	90	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	91	90	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	90	82	94	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	84	93	88	・特色ある学校づくりに関する児童評価が10%上昇した。各学年で感染対策を講じながら、校外学習等を実施した結果だと考える。 ・わかりやすい授業に関してはすべて高評価である。先生方の日々の授業実践の成果である。 ・家庭学習の習慣に関しては評価がすべて評価が低い。オンラインでの家庭学習を更に推進する必要がある。 ・キャリア教育(自立に向けて)に関してはすべて評価が低い。特に教職員が低い。各学年が定期的に行っているキャリアパスポートもキャリア教育の一環であることを確認するとともに、児童、保護者への発信も必要である。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	91	93	94	
		家庭学習の習慣が身に付いている	69	78	87	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	78	73	64	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		86				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	84	90	94	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的習慣に関する児童評価が低い。児童自身自覚があるととらえ、指導を継続していく。</li> <li>・食育に関する児童評価が低い。給食週間等、機会をとらえて指導を継続していく。</li> </ul>
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	74	87	93	
		体力向上に努めている	83	85	87	
	食育	食に関する教育活動を行っている	78	89	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	86	95	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回同様、地域行事がコロナ禍で中止になっている現状から、児童の参加が少ないのはある程度仕方ないことだと考える。ただ、今後、この状況が改善されたときには、進んで参加する促しは必要である。</li> </ul>
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる		78	85	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	44	90	94	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	86	88	88	
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			94	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

【成果】

- ・先生方の日々の授業実践の成果により、授業が分かりやすくなっている。
- ・各学年で感染対策を講じながら、校外学習等を実施したことが、特色ある学校づくりに繋がっている。

【課題・対策】

- ・生活指導を徹底、継続することで、生活指導上の問題を改善し、明るく楽しい学校を目指す。
- ・業務改善は、新年度の校務計画を立てる際に校務の見直しを行うよう呼び掛けていく。
- ・挨拶は、地域、学校、育友会が連携して指導していく必要がある。
- ・いじめ防止に対する具体的な取り組みを、保護者に発信続ける。
- ・eライブラリでの家庭学習を更に推進する必要がある。
- ・各学年が定期的に行っているキャリアサポートもキャリア教育の一環であることを教職員に確認するとともに、児童、保護者への発信も必要である。
- ・基本的習慣に関する指導は継続していく。
- ・食育に関する指導は、給食週間等、機会をとらえて継続していく。
- ・地域行事がコロナ禍で中止になっている現状から、児童の参加が少ないのはある程度仕方ないことだが、今後、この状況が改善されたときには、進んで参加する促しは必要である。

## 6 学校関係者評価

- ・保護者のアンケートに対する回答率の低さが気になる。
- ・保護者の学校のいじめ対策、児童の悩みや相談対応に関して、否定的な回答が約1/4程度あるのは問題である。
- ・児童の髪の毛の染色は多様性を認める上でも、慎重に対応すべき。
- ・(授業について)児童のパソコン機能が素晴らしい。ただ、家庭ではフィルタリングを徹底すべき。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・保護者へのアンケート方法は、今回のメールのみでなく、プリント調査も併用することも検討していく。
- ・いじめ対策については、毎月の児童アンケート、子どもを語る会での情報交換を今後も進めていくとともに今まで以上に児童観察に注力する。
- ・児童の髪の毛の染色については、中学校、育友会と連携しながら、本人に自覚を促しながら改善していく。
- ・今後とも家庭での携帯等のフィルタリングを促していく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。